

平成26年度「幼児作品展」

12月16日～18日の3日間、門別総合町民センターにて「幼児作品展」を開催しました。

門別地区の幼稚園・保育所5施設の子ども達で作った作品、合わせて約600点の作品を展示しました。展示期間中はお父さんやお母さんと一緒に作品を見に来ている子どもたちの姿が見られました。



門別ことぶき学園第6回本科「新年交流会」

1月16日、門別公民館で門別ことぶき学園第6回本科「新年交流会」が学園生及び専科講師67名参加のもと開催されました。

開式では学生自治会木村会長より昨年の出来事を振り返りながら新年へ向けてのあいさつがありました。その後、レクゲームや百人一首、ビンゴゲームを行いました。会場内は大いに盛り上がり、学園生の交流も深まり、楽しんでいる様子が見られました。



平成26年度日高西部広域社会教育事業

◆遊ingスキー教室◆

1月8～9日、国立日高青少年自然の家で「遊ingスキー教室」が開催されました。

日高・平取両町から小学4～6年生の35名が参加し、1日目はスノーラフティングのほか門別スポーツリーダーズクラブの全面的な指導による雪中運動会、交流レクリエーションを、2日目には日高国際スキー場でスキー、スノーボード教室を行ないました。

開催前日から降り積もったたくさんの雪の中で、参加した児童はスキー、スノーボードの基礎技術の習得を図るとともに楽しく交流を深めることができました。





特別展・寄贈資料展「日高の翠の石」開催中です！

博物館の寄贈資料などの中から、テーマをしばって展示します。

ただいま、日高山脈博物館の2階特別展示室にて開催しています。テーマは「日高の翠の石ーアオトラと日高ヒスイー」です。

主に寄贈いただいた資料の展示になっていますが、そのなかでも、テーマをしばって展示を開催しています。

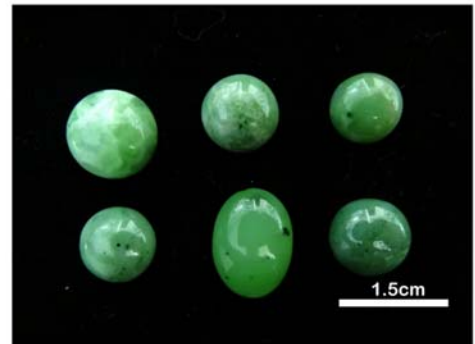
1960年代に日高ヒスイを探索するに当たり、「日高には緑の石が多いから、ヒスイがあるに違いない」と考えられたほど、日高には緑色の石が多いのです。その中でも、特に美しいであろう、アオトラと日高ヒスイにスポットを当てました。

アオトラは、縄文時代の遺跡から発見される石材としても有名で、現代でも庭石などとしても重宝されています。一方、日高ヒスイも縄文時代の遺跡から装飾品として発見されるほか、現代では、硬玉、軟玉に次いで「第3のヒスイ」といわれ、宝石として重宝されています。

今回の展示では、日高で産出され縄文時代から現代でも重宝されてきた、大変貴重なアオトラと日高ヒスイの共通点や、でき方などを掘り下げた特別展示を行なっています。日高ヒスイの研究は近年、当博物館で行なっており、学会発表も行なうなど、成果も着実に蓄積されてきています。それらの一端も含めた展示となっておりますので、ぜひご覧になってください。

なお、特別展示は3月28日までとなっております。開館時間は10～15時、月曜日が休館日ですのでご注意ください。

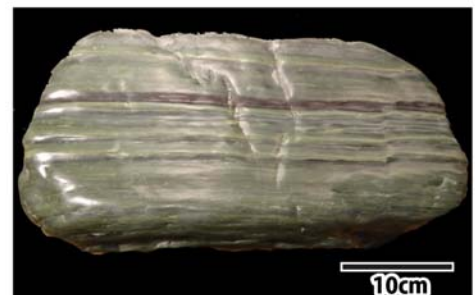
写真は、展示物の一部です。特別展示以外の資料も控えていますので、ご覧になりたい場合は、学芸員までお申し出ください。



日高ヒスイ原石の自然面



日高ヒスイ原石の切断面



日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。